

情 報 交 換 会 会 議 録 要 旨

会 議 名 称	「だてのまち」美化サポート事業 情報交換会		
議 題	(1) 各活動団体における取組内容について (2) 今後の取組に係る意見要望について		
日 時	平成25年11月20日(水) 13:30～		
場 所	市役所第2庁舎 第1会議室		
出 席 者	8団体		
	所管部課名	経済環境部環境衛生課	
公開・非公開の別	非公開	傍 聴 者	
<p>事務局出席者（環境衛生課長、建設課長、環境衛生係長、街路公園係長、街路公園係主任、環境衛生係）</p> <p>1. 開 会</p> <p>2. 情報交換会</p> <p>(1) 各活動団体における取組内容について</p> <p><団体A></p> <p>始めて7年目になりますが、昨年までは花の苗を作るのに農家のビニールハウスを借りていましたが、ハウスを借りることができなくなりました。37か所の街路樹柵を植えることから1,700株必要です。会議を開いて方法を検討しましたが水をやることを考え、会館のところにトンネル式のハウスを造って育てて、また環境の責任者のところにも小さなハウスがあるのでそこで2か所で育てることとしました。育てるのに以前はポットで育てていましたが、できなくなりましたので発泡スチロールに直蒔きをしています。堆肥を毎年市の方から提供してもらっていますが今年の水産系の堆肥が貰えなかったので、化学肥料を提供してもらい植えました。世話は当番制で朝と夕方と2回水を撒いています。大きなタンクに水を入れて散水で回っています。除草は一斉に2回行っていますが、自宅近くの街路樹については手入れしていただくように呼び掛けたところ何ヶ所かは除草をしていただき助かりました。去年はハウスを借りていたため、早く出来ました。今回は場所を決めるのにも時間がかかり、準備したところ、寒さもあり、育たず4月28日に植えることになり、昨年と比べ1ヶ月ほど遅れました。片付けの時期も1ヶ月ずれました。長い間街路の美化を楽しむことができたという良さもありましたが、寒さもあり一気に枯れたので11月の17日に片づけました。肥料は提供してもらっていたのですが途中で肥料不足なのか、弱々しくなったので来年度は考えないといけないと思います。せっかくきれいに植えたのですが、そっくり持って行かれたので補植も行いました。悪い心のひとが出ないようにしなければと思います。補植をするのに苗を確保する必要があるのかなと次年度の課題と考えています。伊達神社から200mほど関内方面にいったところから橋のところまでは、街路柵が大小、結構あるのですが花壇づくりが難しいのでできるだけ自分たちで手入れをするよう何回か回覧したところ目の前の草は取ってもらえるようになりました。改良普及センターにも話をしたところ、直接見たわけではありませんが、いつもきれいになっていたののでやってくれていることと思います。</p> <p><団体B></p> <p>平成19年に家族で末永に移って来ましたが、家のすぐ裏に紋別川があり非常に汚れていたの、身近なところだけでも清掃できないかということで申し込みました。作業は月に1回清</p>			

掃しており大分きれいになっておりますが、同じところに投げられています。やりはじめて6年半になりますが、4年頃から投げられる量も少なくなり、最近は月1回まわってもごみが集まらなくなってきました。汚い所には投げやすいという心理があると思うので常にきれいにしておくのと投げられなくなります。今までやったなかで、自転車が投げられていたのが企業の名前が書いてあり、伊達にも会社が有ったので連絡してみたところ、盗まれたものであったので責任者の方が持って行ったということが有りました。柳の大きな大木が突然倒れて、民家の軒をかすったということが有りましたが、建設課さんに連絡したところその日のうちに現地に来ていただき、素早い対応で助かりました。範囲を広げつつ全体で活動をできればいいなと思います。川に鮭がしばらく来ない時期が有りましたが、今年は来てくれました。できる事なら清掃して憩いの場となるような地域づくりを続けたいと思います。

<団体C>

似たような名前ですが昨年まで参加させていただきましたが、いろいろな理由で解散しました。そのなかで牛舎川公園は自然公園なのですが、都市公園のように北海道にないような木が増えていくようなことを見てきており、これでは自然公園ではなくなってしまうのではという方が何人かいましたので、伊達の自然に戻すような公園にしようと、稀府の自治会に付属する環境ボランティア団体を立ち上げました。現在22名が活躍していますが実質は一回の会合で13名程度活動しています。場所は牛舎川自然公園、みどり児童公園、牛舎川遊歩道の3つを活動範囲にしています。自治会の承認が今年の4月におりましたので、動き出したのが実質6月からということで、まだ半年しか経っていないので、何をしたいかわからず相談もしました。とりあえず、1ヶ月に1回定期巡回してごみ拾いや枝払いをしました。また、カラスの巣やハチの巣ができていないかの点検も行いました。ただ巡回するというのは負担が大きいので季節の移り変わりを楽しみながら巡回するというようにしています。今年の方は本日で6回目でしたが行いまして活動を終わりました。川沿いに木とロープが張ってあったのですが、切れかかっていたので、自分たちで張り替えようと市にロープの支給をお願いしたところ1週間もたたずに交換してもらい、感心しました。今年切れたというわけではなく何年も前から切れていたものであると、どこかの組織が情報提供をして対応してもらったのが良いと感じました。春と秋には枯れ枝がすごく多く落ちています。従来は大きな枝は束ねて、小さな枝は袋に入れて市に回収してもらおうという形をとっており、いずれにしても焼却処分をしており、税金を使用して燃やすのはもったいないという話が出ておりました。今年の春に街路公園の係の方に枝の相談をしたところ堆肥センターに持っていけるという話を聞き、そういう方向にしております。公園の落ち葉整理では、市から玉ねぎ袋を提供してもらい集めた落ち葉を入れて古い木の根元に置いて根元の保護をしています。秋にこれをしますと、5月にはミミズが出てくるほど効果があります。その作業を子ども会と一緒にいき、自治会と子ども会で行っており作業終了後は焼きいもをおこなっています。何かの作業をして焼きいもをすると自然を理解していただけると思います。学習しながらやっていくことが必要だと思います。定期巡回では片道は2.5kmあるので往復すると5kmあるので9時から始めてお昼に戻ってこれないので、二手に分かれて行っていますが、それでも2時間近くかかります。終わった後に1時間程度集まって話をする時間を設けていますが、次から次に話が出てきて1時間では終わりません。1ヶ月に1回は集まって作業をするのは重要だと感じます。これは反省会ではなく座談会にちかいものです。来年も続けていくことと思ひ、有意義なものでした。何かをするときは、次の世代に手間のかかるものは止めようということで活動をしています。現在、公園に将来植える苗木を100本ほど作っていますが地元のものを植えていくスタンスを続けていきたいと思ひます。

<団体D>

本自治会は伊達の中でも広い自治会で気持ちがあってもなかなかそろわない形でしたが、たまたま南大通りと舟岡1号線の交差点の改修工事の際にデットスペースができたので、駐車場や雑草地になってしまうので自治会で何かしていただけませんかというお話があり、花をやるうという話になりました。今年で4年になりますが、今年は花のすべてを自治会全員が花の種から苗を植えて育てました。今年春先に気温が上がらず、苗を育てるのには苦労しました。それでも植える分には足りました。植えた以降は比較的天候がよく、成長し皆さんの目を楽し

ませる事が出来たと思います。今年は各人に割り振って苗を育ててもらいましたが、負担も大きく来年以降は止めたいという方も多いので人数の確保が一つの課題ですが、来年以降もやっていきます。たまたま、花壇コンクールに応募したところ今年是最優秀賞もいただきました。

<団体E>

今年の春は寒い時期が続き、心配しましたが急に暖くなりマリーゴールドの植樹には成功しました。市からの種では100%は足りなかったのですが、近所の方が余っているからと応援していただき、紋別川の周辺に植樹しました。今年は春先が寒く雨が少なかったせいか、毛虫が街路樹についていたのが特徴だと思います。街路樹が枯れてきている事が目立っており、危ないので切りますと市の担当の方に連絡していますが、どの辺まで枯れているかを見るため葉の出ている時期で検討しなければならないという事も考えています。川を歩いてみるとコンクリートから1m位のところで土を被せていますがそこで野菜をつくっている方がいます。野菜をつくるために造っているものではなく、雨のために掘れてしまわないようにしているので完全に残してもらいたいのので指導の方宜しくをお願いします。草を伸ばしておくのごみが飛んできて引っかけり、そこにまたごみを捨てられるという事があるので、除草も行っていますが、なかなか追いついて行かなかったような結果です。そのようなことから、除草はなるべく早くやっていこうと考えています。

<団体F>

すみれ公園を中心に行事をやっています。春と秋に活動を多くしています。3月から4月にかけて枯葉を集め、5月からは公園内に花壇を設置しています。昨年の秋に植えたチューリップの球根を掘り出して花の苗を植えるという事を毎年繰り返しています。秋までには花壇コンクール等がありますので管理をしています。終わってからも10月ぐらいまでは花壇が見れるように整理し、10月にチューリップの球根の苗を植えています。公園の中に30年もたっている木があり、大きな葉を落として、飛んで行く事から自治会外からも苦情が来ておりました。対策は葉を落とさないことなので、切るしかないという事で、頼みまして上の部分を切ってもらいました。これで出なくなるのかなと思いましたが、きれいに出るものです。毎回街路公園係に頼むのも大変ですので、自分たちで木の枝を払っています。それで片づけを街路公園係に頼んでいます。お互いに連絡を取りながらやっております。近所には袋を渡しており葉が飛んできたときは袋に入れて出して下さいとお願いしてあります。

<団体G>

活動範囲は商店街の範囲の街路のごみ拾いをしています。5月～10月の第4月曜日に当番制で1時間位毎月行っています。7月には公園の草刈を全員で行っています。

<団体H>

年に一回ごみ拾いをしております。毎年春にしていますが、今年は災害があり春にできませんでした。そのため7月に行いました。雪どけ時期の方が成果が出やすく、7月になるとそれほど成果がありませんでしたが、来年も時期をみながら行いたいと思います。

(2) 今後の取組に係る意見要望等について

○団体C

牛舎川自然公園の中にごみ箱が5個あります。公園を散歩された方がごみを捨てていき、街路公園係に委託されてます方が後始末をしています。最近公園等の公共施設にごみ箱はいらぬのではという意見があります。景観の問題もありますし、掃除をしている方に聞いても、たまにいっぱいになることがあります。普段はごみが無いとのこと。なくてもいいのかなという話が出ています。自治会を含めて検討しているわけではないのですが、持ち込んだごみはみなさん持ち帰っています。落葉がかなりの量なのですが、集めたものをどう処理するかというのが今後の課題となっております。

今は集めて網をかけて飛ばないようにしています。自然公園の落葉は拾わなければいけないのかという意見もあります。落葉を拾い始めたきっかけは、落葉が川で流れていくと海に行くと漁業組合から落葉が来ているという話があったので始めたと言っている方がいますが、そこまでの責任はないと思います。今は街路公園の落葉はどうなっていますか。

●都市整備課

作業員の方で集めています。そのあとは旧清掃センターに入れていきます。

○団体C

自然公園でも落葉を集めた方がいいのですよね。

●都市整備課

草刈をしますので春先に落葉がありますと、非常に作業がしづらいです。できるだけ拾うようにしています。

○団体C

今は秋にしていますが、春先でもいいのですよね。今はまだ葉が全部落ちていないので集めてもまた落ちてきてしまいます。

●都市整備課

作業自体は11月いっぱいとなっていますので、温暖化のせいなので葉が落ちなくなってきており、集められなくなってから葉が落ちていきます。そういうものは、春先に集めてから草刈りをしています。

○団体C

春の草刈前に落葉が拾われていけばいいという訳ですね。春に作業を変更すれば落葉は全部拾えますし。草刈を考えれば拾っていた方がいいという考えですね。分かりました。

○団体A

堆肥の関係ですが水産系の方が花壇にはいいと言われています。今年は5月いっぱい量は貰えないという事で化学肥料にしましたが、水産系の堆肥を軽トラ2台分確保してもらうようなことはできませんか。

●環境衛生課

水産系の堆肥は結構出ているという話は聞いており、その時期にはなかったのではないかと思います。今回お話を頂きましたので担当の農務課に確認しておきます。

○団体G

以前に参加者がはちに刺されました。保険の対象になるという事で総務課へ行きましたが、絵を描かなければならないなど非常に面倒であきらめました。もう少し簡素な手続きになりませんか。

●環境衛生課

保険の関係は伊達市市民総合災保障規則に沿って進めていますが、実際にあった時は事務局で手伝える範囲で手続きを手伝います。

○団体A

花を植えていない所の街路樹に大雨が降るとチップが全て流れて、土も流れしまいます。連絡するとまたチップを入れて頂けるという事でしたが、雨が降ると同じことになってしまいます。網に入ったチップですと草も生えにくいですし、生えたとしてもひっくり返せば枯れて便利だという話を聞いています。

●農務課

春先の花壇の整備の時に水産系の堆肥が在庫切れだったという事ですが、農家さんは秋に堆肥を畑に撒いて翌年に備えますが秋に雨が大量に降りますと堆肥を撒く時期がなく、春先にずれてしまいます。そうでなくても、春先に農家さんが始動しますと在庫切れになることが多いのです。そういった状況があるので3月中に確保していただければ備えることができると思います。

○団体A

花壇を整理し終えた11月頃ではだめですか。

●農務課

11月頃でもあります。11月の方が在庫はあると思います。秋の方が確保がしやすいです。

○団体C

貸与や支給できるという事があるのですが、何が貸与・支給できるという事を教えてください。

●環境衛生課

長期で使えないもの軍手などは支給という形にしています。貸与となるのはひばさみやスコップなど長期で使用できるようなものは貸与という形をとっています。

○団体C

牛舎川遊歩道をごみ袋をもって巡回しているときに、ひばさみが欲しいという意見があります。ひばさみなので貸与という事ですね。現実的には毎回借りて返すというのも大変なのですが。

●環境衛生課

そのような形にはなりません。利用するのが年1回であればその時だけというケースもありますが、年間を通して活動するのであればそのまま貸しておくという事もあります。事務局に相談いただければ対応します。

○団体C

ごみ箱が不要であるという事に対して意見はどうなりますか。

●都市整備課

今の時代はごみ箱は撤去されていますので、自治会の方で意見をまとめて頂ければ撤去は出来ます。ただ、勝手にとってしまうと何で取ったのかと言われてしまうので皆さんの了解があればすぐにでも撤去できます。

3. その他

特になし

4. 閉会